



中央区議会議員

なつ

しらす夏 区政レポート



目次

- 令和7年第2回定例会一般質問
- 2025年度活動報告（裏面）

誇りある日本、より強く美しく

令和7年第2回定例会 一般質問

昨年7月に行われた第2回定例会の一般質問では「環境政策」「男女共同参画」「多様性の在り方」の三つのテーマを取り上げました。いずれも現代社会において重要視されながら、その本質や実効性が問われている分野です。これからも現場の声を大切に、丁寧な区政を目指してまいります。

Q. 太陽光パネル設置の再考を

太陽光パネルの設置・活用について、景観、廃棄、国産技術活用の観点から踏まえた区の見解と今後の方針はどうなっているか。

A.

太陽光発電は行政による支援制度が充実しており、パネルの設置が促進されることで、電気料金の削減や停電時の備え、さらには二酸化炭素排出量の削減に寄与する一方、設置場所や規模によっては、まちの景観に影響を与えるほか、設備の維持管理や廃棄の負担等の課題があることも認識をしている。区としては、太陽光パネル設置による効果と課題とのバランスを考慮しながら取り組んでいく。

Q. 国民負担の抑制を

再生可能エネルギー発電促進賦課金の国民負担について、中央区として国や都に対して意見を上げていくべきと考える。

Tips 2025年度の再エネ賦課金単価は電気使用量1kWhあたり3.98円と過去最高値に

A.

賦課金は、東日本大震災をきっかけに、原子力発電の安全性に対する懸念が高まる中で、再生可能エネルギーの安定的な供給と普及促進を目的に、平成24年に導入され、電気料金に上乗せする形で国民が負担することとなっている。賦課金の在り方については、再生可能エネルギーの導入促進と併せ、国民負担の抑制についても議論がなされるべきものと考えていることから、引き続きその動向に注視したい。

Q. 持続可能な環境施策の確立を

グリーンウォッシングに陥らない、実質的かつ持続可能な環境施策について区の実践は。

A.

区では、エコアクトや省エネルギー機器等導入費助成をはじめ、地球温暖化対策に資する様々な取組を行っていることに加え、令和7年度からはZEB化の推進に向けた周知や、福島県大熊町との都市間連携により、風力発電によって創出された再エネ電力の調達を新たにスタートさせた。

Q. 真の男女共同参画の実現を

『女性センターブーケ21』が『男女平等センターブーケ21』へと名称変更されたが、どのような成果や効果があったか。

A.

それまでは女性の利用が活発である一方で、若年層や男性の利用が少なく、より多様な方々に開かれた施設としていくため、名称を変更した。その結果、令和5年度における男性利用者数は、前年度と比べ約35%増加しており、男性にとっても利用しやすい施設へと着実に前進したものと受け止めている。

Q. 子どもたちへのきめ細やかな対応を

学校現場で、性自認に基づく制服やトイレの選択に関して、どのような方針を区は持っているか。

A.

全学校で相談体制を整備し、標準服やトイレ使用などについては、個別の事情に配慮した対応を行っているところであり、現在のところ、学校において児童・生徒の混乱や戸惑いなどの問題は生じていない。

2025年
7月

2025年度 活動報告

2025年
9月

《行政視察》

子ども子育て・高齢者特別委員会での活動



子ども子育て・高齢者特別委員会の行政視察で、仙台市と福島市を訪れ、子育てと介護の現場での先進的な取り組みを学ばせていただきました。

仙台市 介護人材確保の取り組み

画像引用：
スケッター公式HP

介護人材の不足は、中央区でも深刻な課題です。

仙台市では「スケッター」という外部マッチングサービスを活用し、未経験者や副業希望者でも気軽に介護現場を体験できる仕組みを整えていました。



“やりがい”を大切にしながら人材の裾野を広げるこの取り組みは、担い手不足の解消だけでなく、福祉の魅力を再発見するきっかけにもなっていると感じました。

福島市 こむこむ館(子どもの夢を育む複合施設)

「こむこむ館」は、子どもたちが遊び・学び・創造を自由に楽しめる複合施設。

科学実験、映像制作、演劇など、子どもたちの“やってみたい!”を後押しする仕掛けがたくさん詰まっています。

地域の方々や専門人材とも連携し、子どもの自由な発想を大切にしている運営体制が印象的でした。



「こむこむ館」模型展示▲

介護も子育ても、課題は異なりますが共通しているのは、「人と人とのつながり」「やりがい」「地域の力」です。

中央区でも、こうした事例を参考にしながら、地域で支え合う仕組みづくりを進めてまいります。

しらす なつ 白須夏 プロフィール



士魂の会

出身 ● 福島県喜多方市山都町
最終学歴 ● 聖心女子大学文学部国文学科 卒業

現:東京都中央区議会議員
日本賢人会議所 理事 / 東京都防衛協会 特別会員

好きな言葉 ● 花は自らの力で開く
特技 ● 茶道・華道・剣道・料理・傾聴
趣味 ● テニス・ヨガ・フラダンス・散策・旅行



総合防災訓練に参加

中央区晴海二丁目にて「中央区総合防災訓練」が開催されました。

消防・警察・自衛隊をはじめとする関係機関が連携し、救助や消火活動の実演が行われたほか、区民の皆さまにも参加いただける各種体験プログラムがあり、消防による消火・煙体験、自衛隊による災害時入浴体験、綱渡り体験、炊き出しカレーの試食など、実際の災害時を想定した内容が展開されました。子供から大人まで幅広い世代の方々が熱心に参加し、体験を通じて楽しみながら防災の知識を学び取る姿が印象的でした。

近年、自然災害や突発的な事故の発生が相次ぐ中で、防災意識の高まりを一層強く感じております。いざという時に迅速かつ冷静な対応がとれるよう、日頃から備えることの大切さを改めて実感いたしました。

私自身も、区民の皆さまが安心して暮らせる中央区の実現に向け、防災体制の充実と地域の安全確保に引き続き力を尽くしてまいります。

2026年
1月

ふるさと住民登録制度



国の専用アプリを通じて、住んでいなくても、希望の自治体に住民登録ができる

ベーシック登録

- ・任意の自治体に無制限で登録可能
- ・自治体から地域情報を受信
- ・観光などで地域経済に貢献

プレミアム登録

- ・最大3つの自治体に登録可能
- ・自治体が指定する活動に地域の担い手として貢献
- ・自治体サービスが受けられる

新制度の 研修に参加

政府が創設を予定している「ふるさと住民登録制度」に関する研修会が、楽天クリムゾンハウスで開催され参加しました。

本制度は、地域と継続的に関わる「関係人口」について、その規模や関係性を可視化し、地域の担い手確保や活性化につなげていくことを目的とした取り組みです。

登録数に制限のないベーシック登録と、より深い関与を想定したプレミアム登録が設けられる予定で、ベーシック登録は、誰でも気軽に登録でき、関係人口の裾野を広げることを目的としています。

一方、プレミアム登録については、3団体まで登録可能とされ、年3回以上、自治体が指定する地域の担い手としての活動に従事することが想定されています。これにより、交通費や宿泊費などの割引といった支援措置が講じられることも検討されており、継続的な地域活動を後押しする制度設計となっています。

こうした取り組みを通じて、地方と都市の新たな関係性が生まれ、地域間の好循環が促されることで、日本全体の活力向上につながることが期待されます。私自身も、本制度の趣旨を踏まえつつ、今後の動向を注視しながら、可能な範囲で積極的に関わっていきたく考えています。

ご意見・ご要望は
こちらまでお寄せください

白須夏事務所

〒104-0033 東京都中央区新川 1-3-21

TEL 090-5333-0911

MAIL yamatomachi2010@gmail.com

HP https://shirasu-natsu.net/



公式HP